

臨床研修医・医学生向けアンケート調査 報告書

令和8年2月

山形県医師会
山形医師会 若手医師ネットワーク

○調査の概要

1. 調査目的

本調査は、臨床研修医および医学生の視点から、医師会活動に対する認識や期待、将来の働き方や地域医療へのかかわり方等を把握し、今後の山形県医師会における若手医師・医学生支援施策および医師会活動の充実に向けた基礎資料とすることを目的として実施した。

2. 調査対象

臨床研修医および山形大学医学部医学科の医学生

3. 調査方法

Google フォームによる Web アンケート調査（無記名方式）

4. 調査期間

令和8年1月7日～1月30日

5. 回答状況

〈臨床研修医〉

75名/148名（回答率 50.7%）

（ 1年次：39名/69名（回答率 56.5%）
2年次：36名/79名（回答率 45.6%） ）

〈医学生〉

108名/693名（回答率 15.6%）

（ 1-2年生：36名/241名（回答率 14.9%）
3-4年生：42名/229名（回答率 18.3%）
5-6年生：30名/223名（回答率 13.5%） ）

《総 計》

183名/841名（回答率 21.8%）

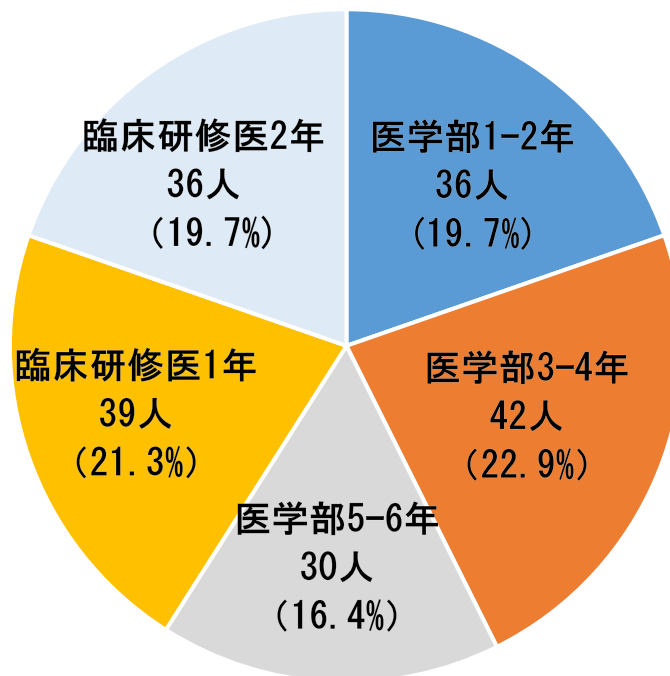
6. 調査内容

- ・ 医師会に対する認識・関心
- ・ 医師会活動への期待
- ・ 将来の進路や働き方に関する考え
- ・ 地域医療および医師会との関わりに関する意見 等

臨床研修医・医学生向けアンケート調査の結果について

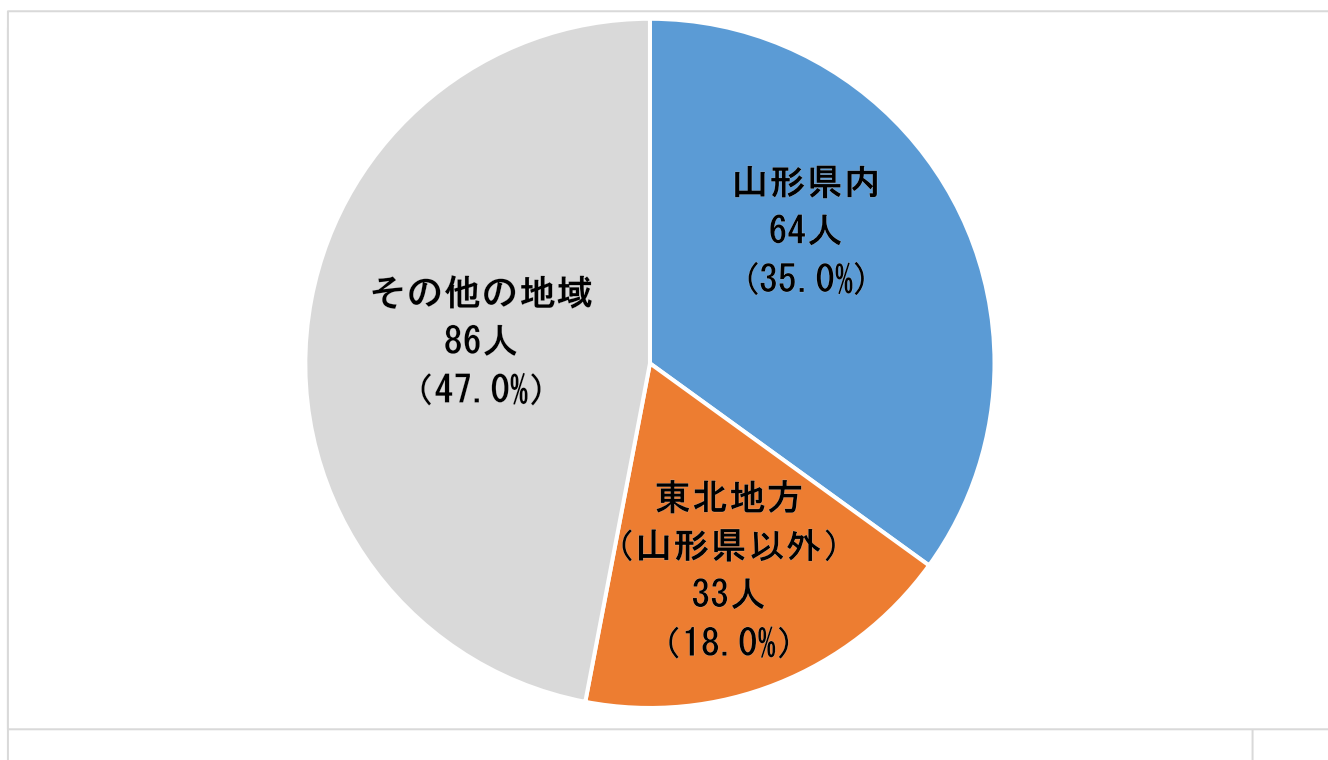
Q1. あなたの学年・立場を教えてください (N=183)

- (1) 医学部 1-2 年生 (36 人/19.7%)
- (2) 医学部 3-4 年生 (42 人/22.9%)
- (3) 医学部 5-6 年生 (30 人/16.4%)
- (4) 臨床研修医 1 年次 (39 人/21.3%)
- (5) 臨床研修医 2 年次 (36 人/19.7%)



Q2. 出身地を教えてください (N=183)

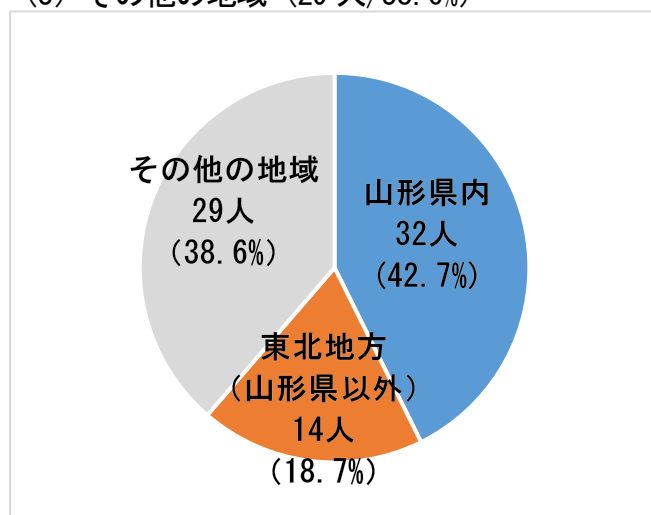
- (1) 山形県内 (64 人/35.0%) (2) 東北地方(山形県以外) (33 人/18.0%)
(3) その他の地域 (86 人/47.0%) (4) 回答しない (0 人)



《立場別》

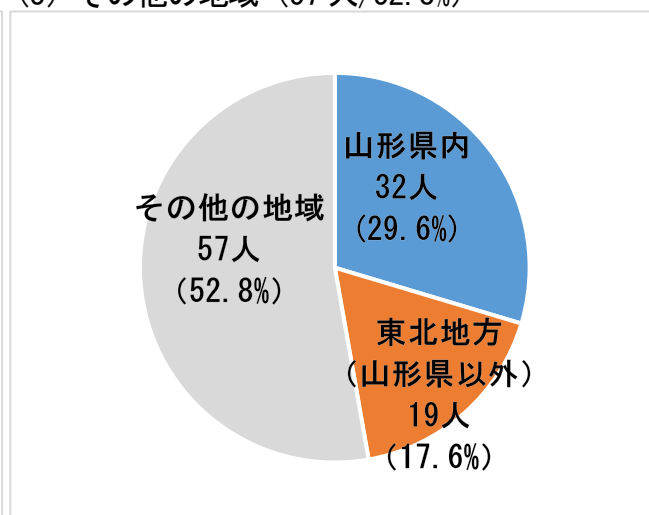
【臨床研修医】(N=75)

- (1) 山形県内 (32 人/42.7%)
(2) 東北地方(山形県以外) (14 人/18.7%)
(3) その他の地域 (29 人/38.6%)



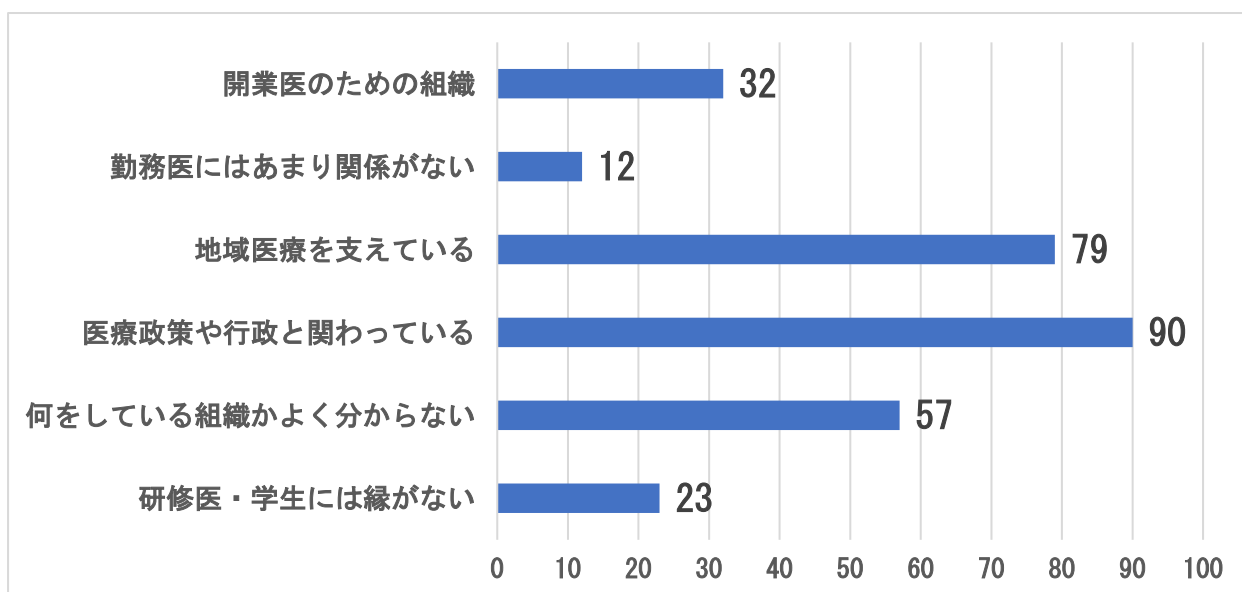
【医学生】(N=108)

- (1) 山形県内 (32 人/29.6%)
(2) 東北地方(山形県以外) (19 人/17.6%)
(3) その他の地域 (57 人/52.8%)



Q3.「医師会」と聞いて、あなたが持つイメージに近いものを選んでください（複数選択可）

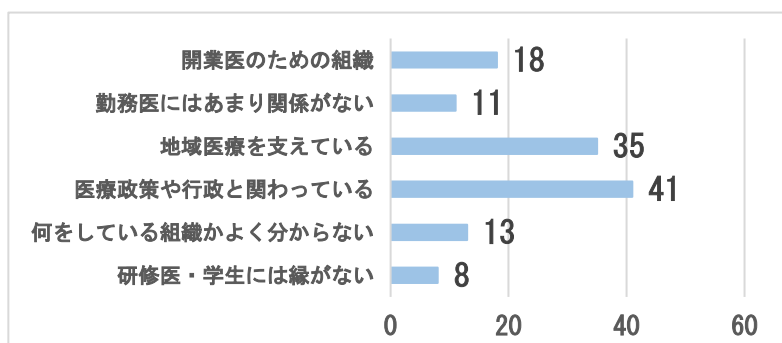
- （１）開業医のための組織（32 人）
- （２）勤務医にはあまり関係がない（12 人）
- （３）地域医療を支えている（79 人）
- （４）医療政策や行政と関わっている（90 人）
- （５）何をしている組織がよく分からない（57 人）
- （６）研修医・学生には縁がない（23 人）
- （７）その他（0 人）



《立場別》

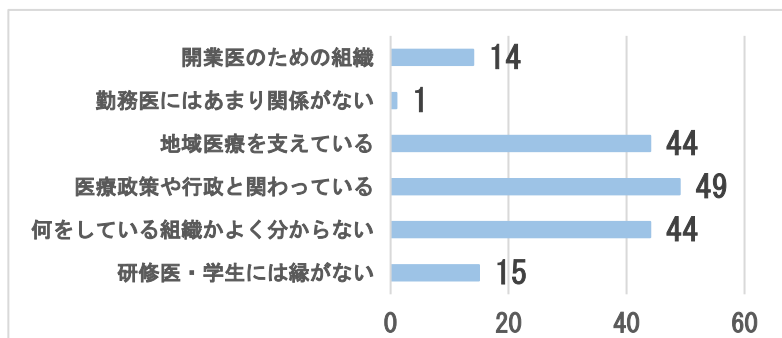
【臨床研修医】

- （１）開業医のための組織（18 人）
- （２）勤務医にはあまり関係がない（11 人）
- （３）地域医療を支えている（35 人）
- （４）医療政策や行政と関わっている（41 人）
- （５）何をしている組織がよく分からない（13 人）
- （６）研修医・学生には縁がない（8 人）
- （７）その他（0 人）



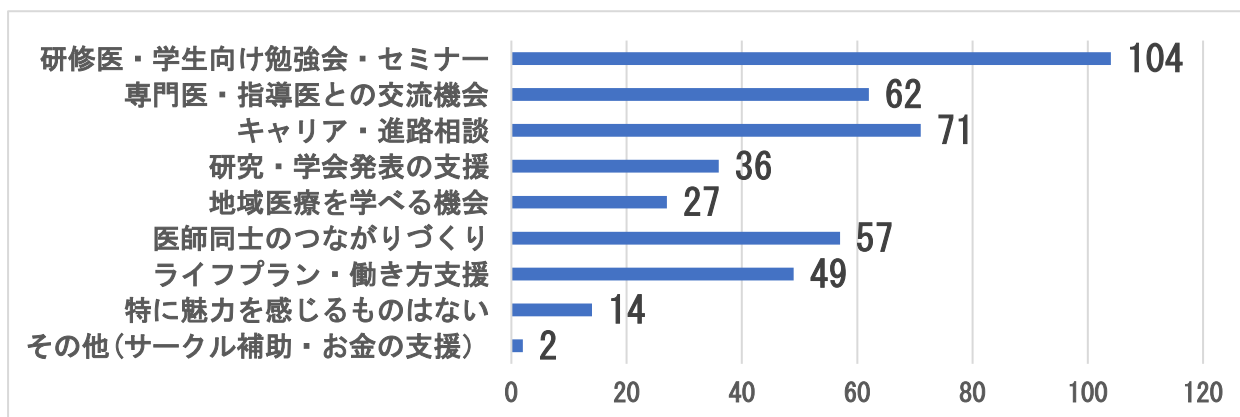
【医学生】

- （１）開業医のための組織（14 人）
- （２）勤務医にはあまり関係がない（1 人）
- （３）地域医療を支えている（44 人）
- （４）医療政策や行政と関わっている（49 人）
- （５）何をしている組織がよく分からない（44 人）
- （６）研修医・学生には縁がない（15 人）
- （７）その他（0 人）



Q4. あなたにとって魅力を感じる医師会活動はどれですか（複数選択可）

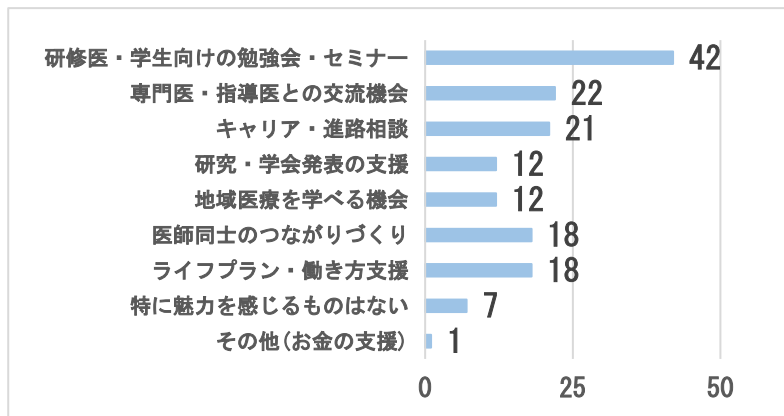
- （１）研修医・学生向けの勉強会・セミナー（104 人）
- （２）専門医・指導医との交流機会（62 人）
- （３）キャリア・進路相談（71 人）
- （４）研究・学会発表の支援（36 人）
- （５）地域医療を学べる機会（27 人）
- （６）医師同士のつながりづくり（57 人）
- （７）ライフプラン・働き方支援（49 人）
- （８）特に魅力を感じるものはない（14 人）
- （９）その他（サークル補助・お金の支援）（2 人）



《立場別》

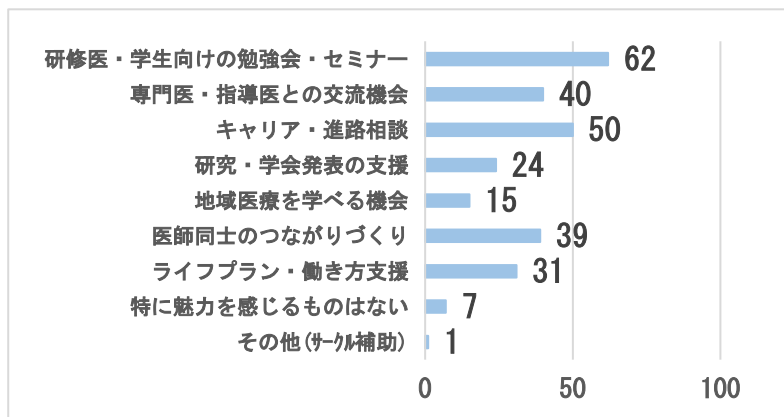
【臨床研修医】

- （１）研修医・学生向けの勉強会・セミナー（42 人）
- （２）専門医・指導医との交流機会（22 人）
- （３）キャリア・進路相談（21 人）
- （４）研究・学会発表の支援（12 人）
- （５）地域医療を学べる機会（12 人）
- （６）医師同士のつながりづくり（18 人）
- （７）ライフプラン・働き方支援（18 人）
- （８）特に魅力を感じるものはない（7 人）
- （９）その他（お金の支援）（1 人）



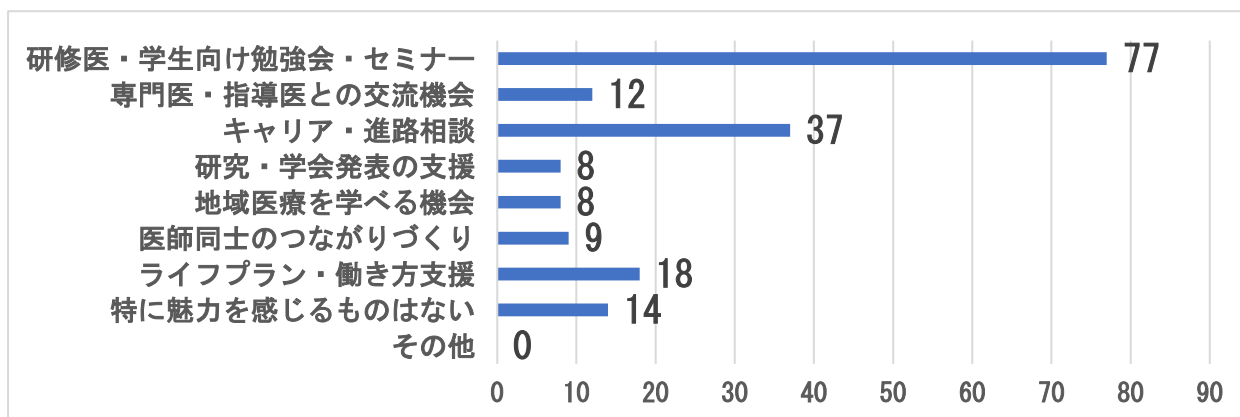
【医学生】

- （１）研修医・学生向けの勉強会・セミナー（62 人）
- （２）専門医・指導医との交流機会（40 人）
- （３）キャリア・進路相談（50 人）
- （４）研究・学会発表の支援（24 人）
- （５）地域医療を学べる機会（15 人）
- （６）医師同士のつながりづくり（39 人）
- （７）ライフプラン・働き方支援（31 人）
- （８）特に魅力を感じるものはない（7 人）
- （９）その他（サークル補助）（1 人）



Q5. 上記の中で、特に参加したいものを1つ選んでください (N=183)

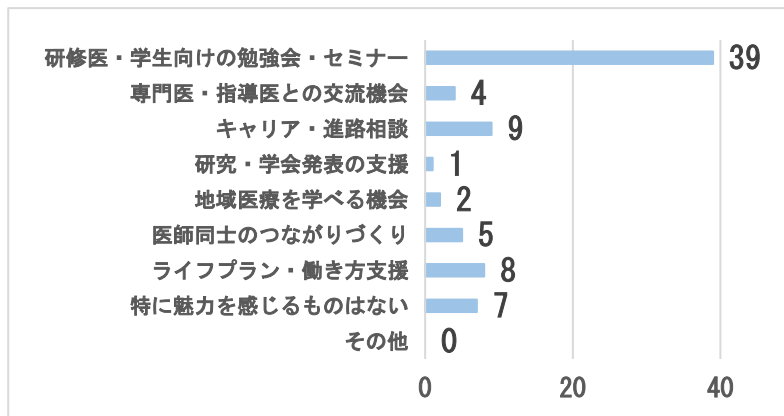
- (1) 研修医・学生向けの勉強会・セミナー (77 人/42.0%)
- (2) 専門医・指導医との交流機会 (12 人/6.6%)
- (3) キャリア・進路相談 (37 人/20.2%)
- (4) 研究・学会発表の支援 (8 人/4.4%)
- (5) 地域医療を学べる機会 (8 人/4.4%)
- (6) 医師同士のつながりづくり (9 人/4.9%)
- (7) ライフプラン・働き方支援 (18 人/9.8%)
- (8) 特に魅力を感じるものはない (14 人/7.7%)
- (9) その他 (0 人)



《立場別》

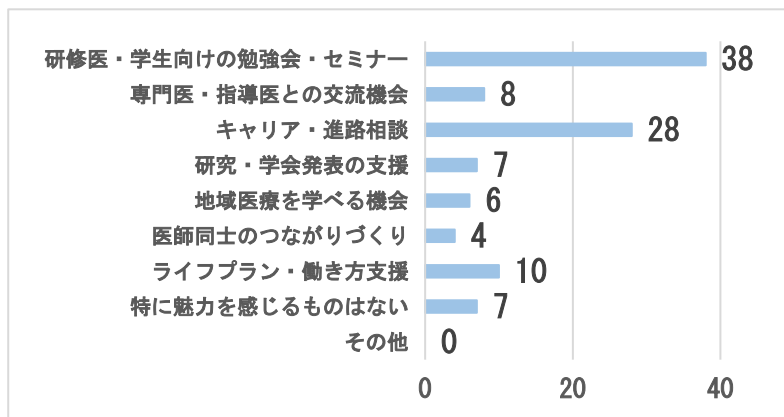
【臨床研修医】(N=75)

- (1) 研修医・学生向けの勉強会・セミナー (39 人)
- (2) 専門医・指導医との交流機会 (4 人)
- (3) キャリア・進路相談 (9 人)
- (4) 研究・学会発表の支援 (1 人)
- (5) 地域医療を学べる機会 (2 人)
- (6) 医師同士のつながりづくり (5 人)
- (7) ライフプラン・働き方支援 (8 人)
- (8) 特に魅力を感じるものはない (7 人)
- (9) その他 (0 人)



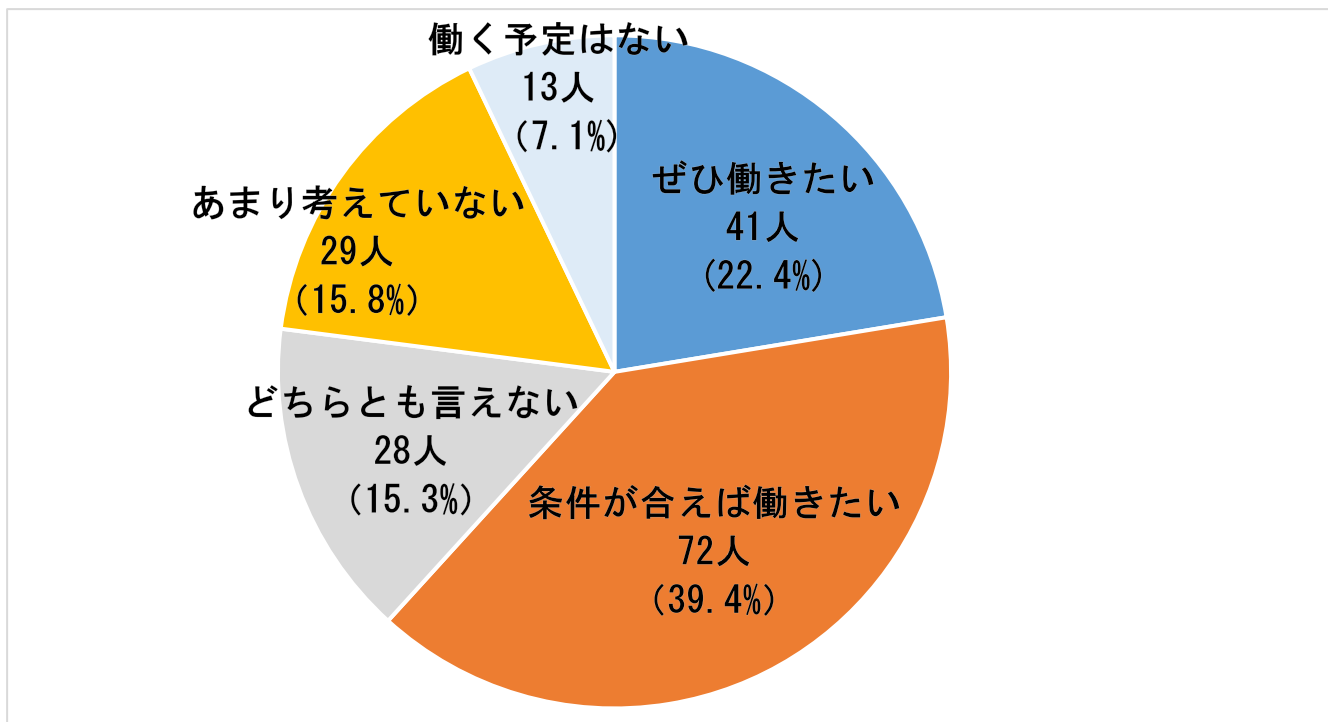
【医学生】(N=108)

- (1) 研修医・学生向けの勉強会・セミナー (38 人)
- (2) 専門医・指導医との交流機会 (8 人)
- (3) キャリア・進路相談 (28 人)
- (4) 研究・学会発表の支援 (7 人)
- (5) 地域医療を学べる機会 (6 人)
- (6) 医師同士のつながりづくり (4 人)
- (7) ライフプラン・働き方支援 (10 人)
- (8) 特に魅力を感じるものはない (7 人)
- (9) その他 (0 人)



Q6. 将来、山形県で医師として働くことについて、最も近い考えを選んでください (N=183)

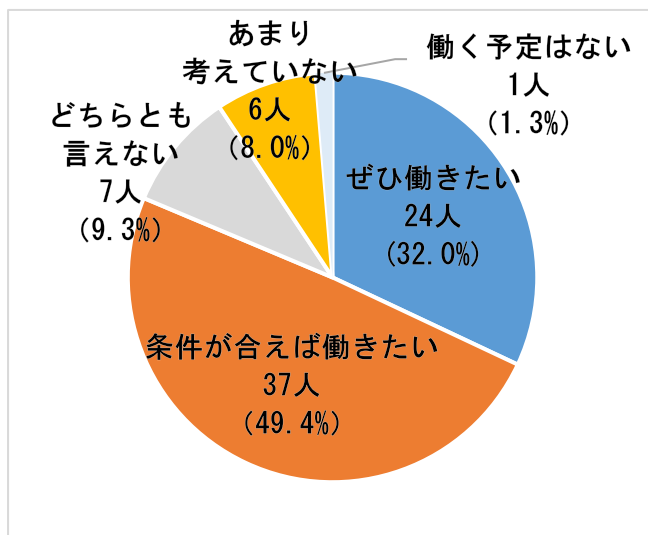
- (1) ぜひ働きたい (41 人/22.4%)
- (2) 条件が合えば働きたい (72 人/39.4%)
- (3) どちらとも言えない (28 人/15.3%)
- (4) あまり考えていない (29 人/15.8%)
- (5) 働く予定はない (13 人/7.1%)



《立場別》

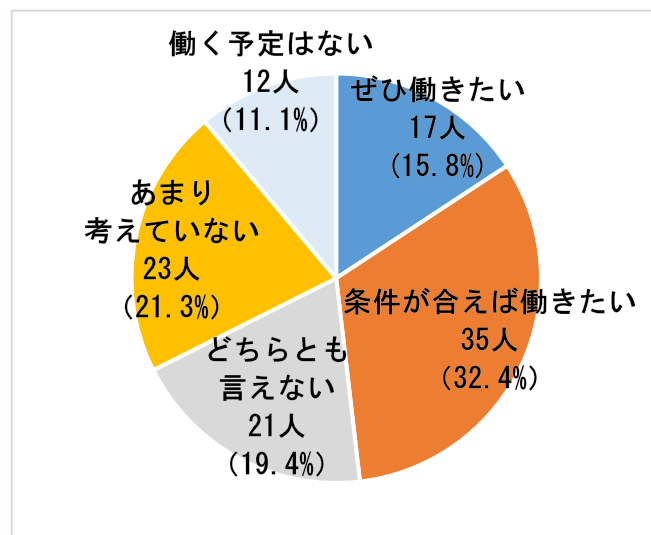
【臨床研修医】(N=75)

- (1) ぜひ働きたい (24 人/32.0%)
- (2) 条件が合えば働きたい (37 人/49.4%)
- (3) どちらとも言えない (7 人/9.3%)
- (4) あまり考えていない (6 人/8.0%)
- (5) 働く予定はない (1 人/1.3%)



【医学生】(N=108)

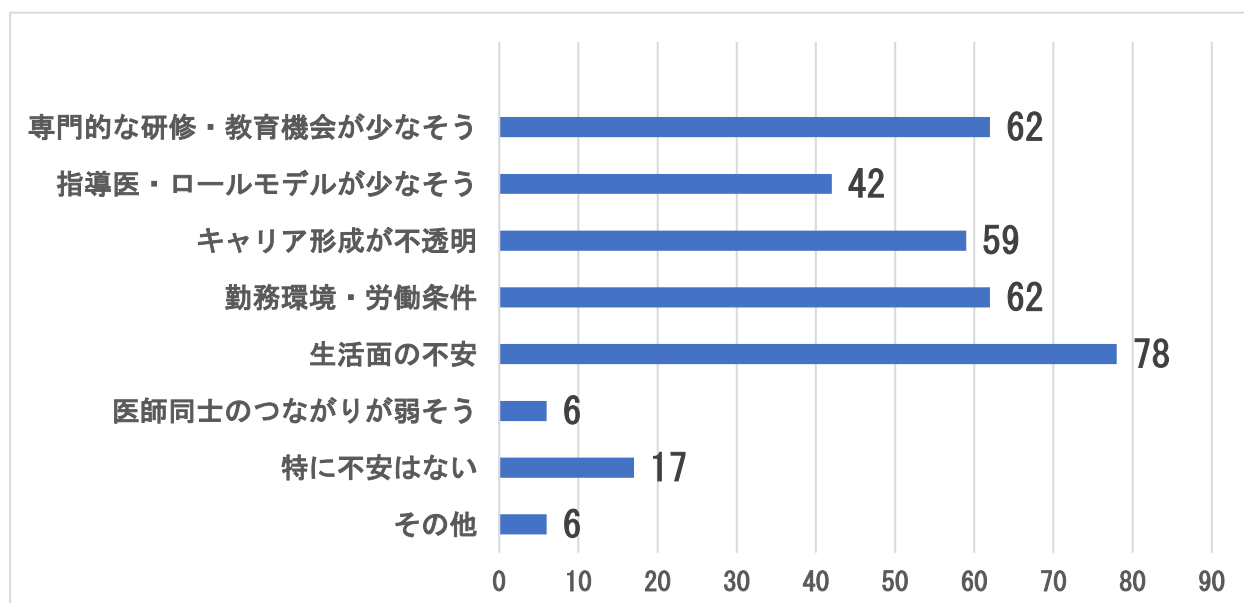
- (1) ぜひ働きたい (17 人/15.8%)
- (2) 条件が合えば働きたい (35 人/32.4%)
- (3) どちらとも言えない (21 人/19.4%)
- (4) あまり考えていない (23 人/21.3%)
- (5) 働く予定はない (12 人/11.1%)



Q7. 山形県で働く上で不安に感じることは何ですか（複数選択可）

- （１）専門的な研修・教育機会が少なそう（62 人）
- （２）指導医・ロールモデルが少なそう（42 人）
- （３）キャリア形成が不透明（59 人）
- （４）勤務環境・労働条件（62 人）
- （５）生活面の不安（78 人）
- （６）医師同士のつながりが弱そう（6 人）
- （７）特に不安はない（17 人）
- （８）その他（6 人）

- ・雪、熊被害
- ・気候が厳しい
- ・義務内医師の待遇
- ・娯楽が少ない（山形市以外）
- ・引っ越しが多そう
- ・女性蔑視の風潮が強く、地域特性的に合わない可能性がある

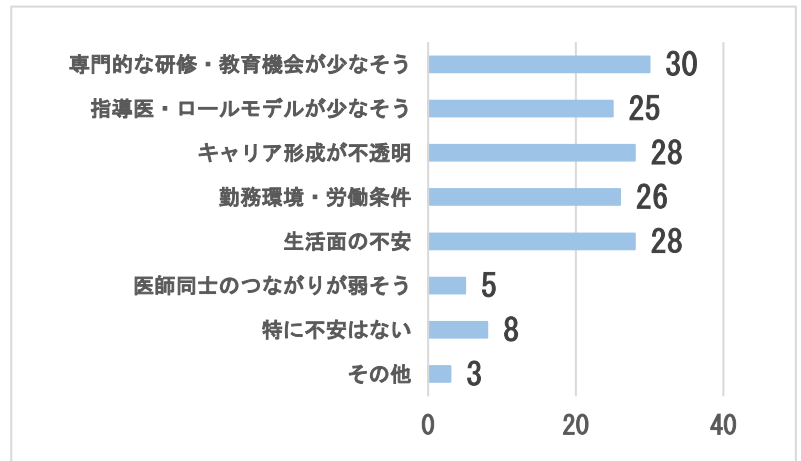


《立場別》

【臨床研修医】

- (1) 専門的な研修・教育機会が少なそう (30 人)
- (2) 指導医・ロールモデルが少なそう (25 人)
- (3) キャリア形成が不透明 (28 人)
- (4) 勤務環境・労働条件 (26 人)
- (5) 生活面の不安 (28 人)
- (6) 医師同士のつながりが弱そう (5 人)
- (7) 特に不安はない (8 人)
- (9) その他 (3 人)

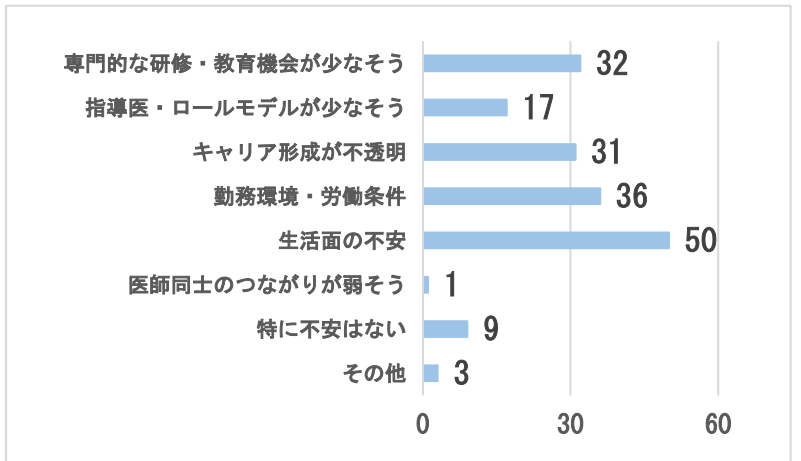
- ・ 気候が厳しい
- ・ 義務内医師の待遇
- ・ 引っ越しが多そう



【医学生】

- (1) 専門的な研修・教育機会が少なそう (32 人)
- (2) 指導医・ロールモデルが少なそう (17 人)
- (3) キャリア形成が不透明 (31 人)
- (4) 勤務環境・労働条件 (36 人)
- (5) 生活面の不安 (50 人)
- (6) 医師同士のつながりが弱そう (1 人)
- (7) 特に不安はない (9 人)
- (9) その他 (3 人)

- ・ 雪、熊被害
- ・ 娯楽が少ない (山形市以外)
- ・ 女性蔑視の風潮が強く、地域特性的に合わない可能性がある



Q8. 医師会に対する期待や要望があれば自由にお書きください

《医師会の体制・運営について》

- ・ 女性の会長の選出を望みます

《地域医療への関心》

- ・ 大学病院では事前情報のない新患が少ないことから、地域の診療に興味があります

《医学生への対応》

- ・ 医学生 1・2 年生でも受け入れていただける交流会等があれば、「1・2 年生も歓迎」と記載いただきたいです

《事業への評価》

- ・ 歓迎レセプションが良かったです

○考察（山形県医師会副会長 橋爪 英二）

本調査は、臨床研修医および医学生を対象に、医師会活動に対する認識や期待、将来の進路意識、地域医療への関心等を把握し、今後の医師確保および地域定着の施策を検討するための基礎資料とすることを目的として実施した。

その結果、医師会が地域医療や医療政策に関与する組織であるという一定の理解は得られているものの、具体的な活動内容や役割については十分に認知されていない実態が明らかとなった。医師会活動への理解不足は、若手医師や医学生が医師会との接点を持つ機会を逃す一因となり、結果として地域医療との結び付きが弱まる可能性があると考えられる。

一方で、研修医・医学生向けの勉強会やセミナー、専門医・指導医との交流、キャリア・進路相談といった活動に対する関心は高く、医師会に対して「学び」「人とのつながり」「将来像を描く場」としての役割が期待されていることが示された。これらは、地域における医師確保・定着を進める上で重要な要素であり、医師会が積極的に関与する意義は大きい。

また、将来の山形県での勤務意向については、「ぜひ働きたい」「条件が合えば働きたい」と回答したものが多数を占めており、潜在的な定着意欲は一定程度存在していることが確認された。しかしながら、専門的な研修・教育機会の不足やキャリア形成の不透明さ、生活面への不安などが、地域定着を妨げる要因として挙げられており、これらへの対応が医師確保における重要な課題であると考えられる。

さらに、自由記述からは、大学病院とは異なる診療経験への関心や地域医療への関心が示される一方で、医学生低学年の段階では、地域や医師会との接点が限られている状況も見受けられた。加えて、歓迎レセプションに対する高い評価は、実体験を通じた交流が医師会や地域への親近感を高め、将来的な定着医師の醸成につながる可能性を示唆している。

以上より、医師確保・定着を進めるためには、研修医・医学生の早期段階から医師会や地域医療との継続的な接点を持たせ、将来像を具体的に描ける環境を整備していくことが重要であると考えられる。

○提言・今後の方向性

本調査の結果を踏まえ、山形県における医師確保および地域定着を一層推進するため、以下の取組みを重点的に進めていくことが求められる。

（１）医師会活動を通じた早期接点の創出

医学生・研修医の段階から医師会活動に触れる機会を継続的に提供し、地域医療や医師会への理解を深めることが重要である。特に医学生低学年も対象とした取組みを明確に位置付け、将来的な地域定着につながる関係性の構築を図る必要がある。

（２）キャリア形成支援による定着意欲の向上

研修医・医学生が地域でのキャリア形成を具体的にイメージできるよう、専門医取得の道筋やロールモデルの紹介、キャリア相談の機会を充実させることが求められる。医師会が中立的な立場でキャリア情報を提供することは、地域定着を後押しする有効な手段であると考えられる。

（３）地域医療の魅力発信と体験機会の充実

地域医療ならではの診療経験ややりがいを、研修医・医学生に分かりやすく伝える仕組みを進める必要がある。地域の医療現場を知る機会や、地域医療に従事する医師との交流を通じて、山形県で働く具体的なイメージを持たせることが重要である。

（４）医師会活動の見える化による参加促進

医師会の役割や活動内容を分かりやすく整理・発信し、研修医・医学生が参加しやすい環境を整えることが求められる。医師会活動への参加経験は、地域とのつながりを深め、将来的な医師確保・定着に資するものと考えられる。

（５）交流・体験型事業の継続による関係性の定着

歓迎レセプションなど、参加者からの評価の高い交流事業については、今後も継続的に実施し、人的ネットワークの形成を推進することが重要である。こうした取組みは、地域への帰属意識を高め、長期的な医師定着につながることを期待される。

○本調査の実施体制

本調査は、山形県医師会若手医師ネットワークが中心となり、調査内容の検討、アンケートの作成・実施および結果の整理等を行ったものである。

【山形県医師会 若手医師ネットワークメンバー（令和8年2月 現在）】

所属医療機関	氏 名
さとう花の森呼吸器内科クリニック（山形市）	佐 藤 千 紗
星川内科クリニック（天童市）	星 川 仁 人
山形県立河北病院（河北町）	深 瀬 龍
小内医院（新庄市）	小 内 裕
日本海総合病院（酒田市）	町 田 浩 祥
上野ファミリークリニック（鶴岡市）	上 野 雅 仁
こまがた医院（米沢市）	駒 形 依 子